

問1 中江兆民の思想が理論的な支柱となった、国民の権利を主張する運動を何という？

1. 大隈重信追放                      2. 国会開設運動                      3. 秩父事件                      4. 自由民権運動

問2 明治時代の殖産興業政策によって、企業が利益を目的として運営され、生産と販売が行われる経済体制のことを何という？

1. 資本主義経済                      2. 重商主義経済                      3. 計画経済                      4. 市場経済

問3 日本の紡績業において、海外から輸入して加工の原料とした農産物を何という？

1. 綿花                      2. 羊毛                      3. 生糸                      4. 石炭

問4 1905年に日露戦争の講和のために結ばれた条約を何という？

1. 日清修好条規                      2. 日朝修好条規                      3. ポーツマス条約                      4. 日米修好通商条約

問5 明治時代、賠償金などを活用して製鉄所などが建設され、急激に発展した産業分野を何という？

1. 重工業                      2. 化学工業                      3. 機械工業                      4. 軽工業

問6 欧米列強に対抗して国力を高めるため、明治政府が掲げたスローガンを何という？

1. 殖産興業                      2. 教育勅語                      3. 富国強兵                      4. 文明開化

問7 日比谷焼打ち事件のきっかけとなった、日露戦争の講和条約を何という？

1. 日英通商航海条約                      2. 日朝修好条規                      3. 下関条約                      4. ポーツマス条約

問8 日露戦争後に結ばれたが、日本は賠償金を得ることができず、国民の不満から暴動が起きた講和条約を何という？

1. 南京条約                      2. ポーツマス条約                      3. アイグン条約                      4. 北京条約

問9 明治時代に、日本の伝統的な美術を継承し、新しい芸術を育てるために設立された学校を何という？

1. 東京美術学校                      2. 慶應義塾                      3. 東京専門学校                      4. 東京大学

問10 義務教育の普及により日本国民の間で高まった、文字の読み書きができる能力の割合を何という？

1. 死亡率                      2. 就学率                      3. 出生率                      4. 識字率

問11 江戸時代から開発が進み、明治時代には大規模な鉱毒被害の原因となった栃木県の銅山を何という？

1. 足尾銅山                      2. 別子銅山                      3. 小坂鉱山                      4. 釜石鉱山

問12 東京美術学校で学び、後に新しい日本画の表現を切り開いた有名な日本画家は誰？

1. 川合玉堂                      2. 菱田春草                      3. 下村観山                      4. 横山大観

問13 日英同盟を背景に、日本が朝鮮半島と満州の支配権をめぐる1904年から1905年にかけて行った戦争を何という？

1. 日中戦争                      2. 日清戦争                      3. 第一次世界大戦                      4. 日露戦争

問14 三国干渉によって、日本が返還を余儀なくされた朝鮮半島の対岸にある地域を何という？

1. 朝鮮半島                      2. 山東半島                      3. 遼東半島                      4. 房総半島

問15 明治時代に日本の主要な輸出品となり、アメリカへの輸出で近代化を支えた繊維製品は何？

1. 石炭                      2. 生糸                      3. 綿糸                      4. 茶

問16 明治時代に津田梅子が創設した、現在の津田塾大学の原型となった学校を何という？

1. 東京女学館                      2. 跡見女学校                      3. 共立女子職業学校                      4. 女子英学塾

## 答え合わせ・解説

問1	答え 4 自由民権運動	板垣退助らが中心となり、憲法の制定や国会の開設、地租軽減を求めて全国で展開されました。中江兆民はフランス流の民主思想を紹介することで、この運動に理論的な正当性を与える役割を果たしました。
問2	答え 1 資本主義経済	資本主義経済とは、民間企業が資本（お金や機械）を投資し、商品を生産して市場で売ることによって利益を上げる仕組みです。この過程で銀行などの金融機関や会社組織が発達し、日本は急速に工業化が進みました。
問3	答え 1 綿花	日本の紡績工場では、インドやアメリカなどから安価で品質の良い綿花を大量に輸入しました。その原料を使って高性能な機械で綿糸を製造し、それを中国などのアジア諸国へ輸出する貿易体制を確立しました。このプロセスは、日本が輸入加工型の工業国へと転換したことを意味します。
問4	答え 3 ポーツマス条約	1905年、アメリカのポーツマスで結ばれたポーツマス条約により、日露戦争は終結しました。この条約の結果、日本は朝鮮における優越権を認められ、南満州鉄道の経営権などを獲得しましたが、賠償金が得られなかったため、国民から不満の声が上がりました。
問5	答え 1 重工業	製鉄、造船、機械製造などを指す重工業は、日清・日露戦争を経て急速に拡大しました。下関条約で得た賠償金が八幡製鉄所などの設備投資に回されたことが大きな要因です。これにより、日本は繊維などの軽工業中心から、金属や機械を扱う重工業国へと産業構造を転換させました。
問6	答え 3 富国強兵	国内の産業を育成する「殖産興業」を車の両輪として、軍事面での強大化を図りました。特に徴兵制の導入と、近代的な兵器の開発、工業化による国家財政の安定が主な柱です。
問7	答え 4 ポーツマス条約	1905年に結ばれたポーツマス条約には賠償金が含まれておらず、これに激怒した国民が東京の日比谷公園で集会を開き、後に暴動へと発展しました。これが日比谷焼打ち事件です。当時の政府が国民の期待を裏切った形となり、政治への不満が爆発しました。
問8	答え 2 ポーツマス条約	1905年にアメリカのポーツマスで結ばれました。日本は朝鮮での優越権と、ロシアから旅順・大連の租借権や樺太の南半分を譲り受けましたが、賠償金は一切得られませんでした。
問9	答え 1 東京美術学校	岡倉天心やアーネスト・フェノロサの協力のもと、1887年に東京美術学校が設立されました。ここでは日本の伝統的な日本画の技法を学びつつ、新しい時代の表現を模索する指導が行われました。
問10	答え 4 識字率	学制の発布やその後の義務教育制度の普及により、日本全国で小学校教育が展開されました。その結果、全国民が読み書きの能力を身につけるようになり、識字率が劇的に向上しました。高い識字率は、近代技術の習得や新しい思想・文化の吸収を容易にし、日本の急速な近代化を可能にする大きな要因となりました。
問11	答え 1 足尾銅山	明治時代には最新の技術を導入し、日本最大の産銅量を誇るようになりました。しかし、精錬の過程で出る有害物質を適切に処理しなかったため、周辺の山林が枯死し、渡良瀬川の水を汚染する大問題となりました。
問12	答え 4 横山大観	横山大観は、東京美術学校の第一期生として学びました。師である岡倉天心のもとで、独自の感性で日本画の伝統技法と西洋の光や空気感を表現する手法を融合させました。特に「朦朧体（もうろうたい）」と呼ばれる、輪郭線を描かない独特の表現で新しい日本画を創造しました。
問13	答え 4 日露戦争	日英同盟を背後に、日本は陸軍と海軍を総動員してロシア軍と戦いました。激しい戦いの末、日本は講和条約を結んで満州からロシアを撤退させることに成功しました。
問14	答え 3 遼東半島	ロシア・ドイツ・フランスによる三国干渉の結果、日本はこの遼東半島を清に返還しました。この屈辱により、日本は自国の安全を守るためにはより強い軍力と外交的な結びつきが必要であると痛感しました。
問15	答え 2 生糸	製糸工場で生産された生糸は、アメリカなどの欧米諸国で需要が高く、日本の主要な輸出品となりました。この輸出で得られた資金が、工場や軍の整備など、日本の近代化のための莫大な費用を支えました。
問16	答え 4 女子英学塾	津田梅子は、1900年に女子英学塾を創設しました。当時、女性は家庭に入るのが一般的でしたが、この塾では高いレベルの英語教育や教養教育を行い、女性が専門的な知識を持ち自立することを支援しました。